

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.125

2010年10月19日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

「第33回兵教組平和教育実践交流集会」開催

「第33回兵教組平和教育実践交流集会」を朝来市において開催し、県内各地より約70名が参加しました。今年のテーマは、「伝える・引き継ぐ“平和を願う心”」です。

午前には、地域教材を活用した授業を参観させていただき、午後からは朝来教育会館で実践交流集会をおこないました。主催者からの基調提案に続いて朝来支部等の実践報告を受けたあと、平和教育部会・協力研究所員の村上登司文さん（京都教育大学）からの講話『平和教育の今までの経過と平和構築』を聞きました。

戦争体験を次の世代へ語り継ぎ、史実と真実の探求をとおして平和を守る教育をすすめていくことの大切さを再確認する良い機会となりました。

集会の内容

- 基調提案
- 実践報告
- 講話と各地区交流

「平和教育の今までの経過と平和構築」

講師 村上登司文さん（平和教育部会・協力研究所員 京都教育大学）



参加者の感想

- ・「平和とは一体何?」「これから私たちにできることは何だろう?」と考えさせられる一日になりました。参観した「じろはったん」はすばらしい地域教材で、うまく教材化されていると感じました。ゲストティーチャーのお話は説得力があり、時間が短く感じられました。今聞いておかないと伝わらない思いがしました。戦後65年、立ち止まって考える必要があると思います。生活の様子がよくわかり、平和への願いが伝わりました。「当たり前」のことが「当たり前ではない」ことを子どもたちにも伝えたいです。「家族が一つ」という言葉も印象的でした。そして「教育」「教師」は、どんな方向にも子どもたちを向ける力があることを実感しました。また、自分の考えを深めることができました。帰って「じろはったん」読みます。
- ・大変すばらしい時間を過ごすことができました。地域教材、手作り教材っていいですね。それを学校の伝統となるまでとりくまれているみなさん（これまでの方も）のすばらしさを感じました。どんどん地域教材の交流（ほりおこし方・伝え方など）ができる会になればと思っています。